

特別補助 大学等の国際交流の基盤整備に係る公表

2025年度 学生の海外派遣事業

【コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科】

2026.2.27

派遣の目的	名称	概要(教育研究内容等)	実施方法	実施期間	実施国	実施先(協定校)	参加人数	認定単位数
人と商品と情報が世界規模で移動する時代。環境の変化を深く理解し、自分とは異なる言語・文化圏で育ってきた人たちとコミュニケーションし、働くことのできる力が求められます。国際コミュニケーション学科では、英語運用能力と異文化対応能力、さらにメディアを利用した表現・発信力を身につけることができます。	海外短期研修	語学学習及び異文化理解の成果に単位を付与する研修実際にホームステイファミリーと暮らすことや語学研修に参加することにより英語の4技能の向上とアメリカ文化についての理解を深めます	現地派遣	2026年2月1日(日)～2月21日(土)	フィリピン	エンデランカレッジ	32名	2
				2025年8月11日(月)～9月14日(日)	アメリカ	サテイク州立大学	10名	2

成果

研修先が発行する授業参加状況や成績証明書、事前研修や成果報告への取組状況を総合的に評価し、担当教員の報告に基づいて、コミュニケーション学部海外研修運営委員会が評価した結果、参加者に単位が付与され、英語運用能力と異文化対応能力、メディアを利用した表現・発信力を身につけることができた。

【全学部全学科】

(国際コミュニケーション学科は除く)

派遣の目的	名称	概要(教育研究内容等)	実施方法	実施期間	実施国	実施先(協定校)	参加人数	単位数
英語・中国語の実践的語学力の習得、グローバルビジネスで活躍できる能力の習得。	グローバルキャリアプログラム	語学・専門研修を行い、最後の3週間は現地の企業などでインターンシップを実施する。	現地派遣	2025年9月29日(月)～12月14日(金)	オーストラリア	ウーロンゴン大学	10名	20
			—	—	中国	上海外国語大学	—	20

成果

(オーストラリア) 研修期間中、毎月1回(計5回)マンスリーレポートを提出する。研修終了後の2025年1月6日(月)までに研修成果報告書を提出する。また、3週間の充実したインターンシップが行われ、単位を取得した。オーストラリアは海外研修20単位とは別に1期9単位 2期3単位の事前事後学修の単位取得により、英語の実践的語学力の習得、グローバルビジネスで活躍できる能力を習得することができた。

(中国) 参加者なし

「海外短期研修」実施後アンケート

「海外短期研修」に参加した皆さん

今後のコミュニケーション学部海外研修プログラムをより一層充実させるため、「海外短期研修」に参加した皆さんに対するアンケート調査を行ないます。

【回答期日】10月14日（火）

なお、答えていただいたアンケートの集計結果は本学公式サイト等で公開いたしますが、個人が特定されることはありません。

アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

コミュニケーション学部海外研修運営委員会

設問1（今回の研修先での授業で得られた成果について、具体的に教えてください。 例：英語コミュニケーション全般の向上、英語スピーキング力の向上、異文化理解の深化など。）	設問2（研修期間中の現地での経験から学んだことを、具体的に教えてください。 例：日本と海外の違いについてなど。）
リスニング力の向上、異文化理解の深化	チップ制度、日本に比べて車社会なこと、大学の規模の違い
<p>私は今回短期研修を通し、語学力の面ではリスニング力が少し上がった気がしました。しかし、大きく変わったと思うのは英語を話すときの気持ちです。留学前は、自分の英語力に自信がなく、間違えを恐れて積極的な発言などできませんでした。しかし、今回の留学で私は積極性を持つという自分なりの目標をもって日々生活しました。ホストファミリーに今日の出来事や明日の予定など、ご飯の時間に自分から会話をするように心がけました。ホストファミリーは私の文法が間違っているにもかかわらず、内容を理解してくれたし、正しい言葉や文法を教えてくださいました。そこで私は間違えても大丈夫なんだとすることができ、英語を話すことに対する嫌悪感がなくなり自信を持つことができました。また、私のホストファミリーはボードゲームやトランプなどのゲームが好きだったので、毎日夕食後に一緒に楽しみました。英単語をつくるゲームでは、知らない単語が出てきたらスマホにメモをして、インターネットで検索するようにしました。ネイティブな表現やスラングなどゲームの時間も新しいことを吸収するように心がけ、次のゲームでその単語を使えるようにしました。</p> <p>また、文化の違いではほとんどが日本と違うように感じました。最初は戸惑うことも多かったですが一週間ほどしたら、文化の違いにも慣れ、問題なく生活することができました。実際にアメリカで生活したことによって日本での当たり前は海外では通用しないと感じました。また、反対にアメリカに行ったことで日本の文化の良さにも改めて気づくことができました。</p> <p>学校生活では、国や性別、年齢に囚われずに友達を作ることができ、お互いの国の文化や言語などを教え合ったり、一緒に遊びに行ったりすることができてとてもうれしかったです。</p>	<p>文化は全体的に違うと感じました。道路が日本より広く、車線が多かったり、スケートボードでの移動が主流で学校内にはスケボー用の道があったりしました。また、飲食店では店員さんに名前を聞かれることが多く、注文を受け取るときに名前と呼ばれたりしました。電車の中も日本とは違い、おしゃべりするのが普通でした。</p>
今回の研修では主に英語のスピーキング・リスニング力が身につきました。元々英語があまり得意ではなかった為、今回の研修で大きく成長を感じる事が出来ました。さらに、アメリカの文化にたくさん触れる事が出来た為文化の理解や新たな価値観を得られました。	日本と海外の違いはたくさんの場面で感じました。食事・授業・部活動・生活など様々な場面で違いを感じる事が出来ました。例えば時間についての考え方があげられます。自分の為、自分がいい方向に行くように時間を彼らは使うためとてもさっぱりとしたメリハリのある行動が日本とは違うなと思いました。
リスニング力とスピーキング力の向上	バスの運転手やスーパーの人が話しかけてくること

「海外短期研修（フィリピン）」に参加した皆さん

今後のコミュニケーション学部海外研修プログラムをより一層充実させるため、「海外短期研修（フィリピン）」に参加した皆さんに対するアンケート調査を行ないます。

【回答期日】3月2日（月）

なお、答えていただいたアンケートの集計結果は本学公式サイト等で公開いたしますが、個人が特定されることはありません。

アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

コミュニケーション学部海外研修運営委員会

設問1（今回の研修先での授業で得られた成果について、具体的に教えてください。 例：英語コミュニケーション全般の向上、英語スピーキング力の向上、異文化理解の深化など。）	設問2（研修期間中の現地での経験から学んだことを、具体的に教えてください。 例：日本と海外の違いについてなど。）
リスニング、スピーキング力の向上、外国の方とコミュニケーションをする中で積極性が得られた。	ストリートチルドレンとの出会いや街中を見ていると日本とは異なり、路上生活をしながら生計を立てている人が多く存在していることを学んだ。また、フィリピンの方々は基本的に親切な人が多く、先生方も授業が終われば友達のように接してくれ、人との関わり方についてもっと柔軟に考えるべきだと学んだ。
私はこれまで海外渡航をしたことがなく、今回が初めての機会でした。海外の方と話す機会が少なく、最初は不安でしたが、マンツーマンレッスンやグループレッスンを通して英語を話す本来の楽しさを感じることができました。また、ストリートチルドレンと交流や普段の生活から異文化理解を深めることもできました。短期間なため英語の力が飛躍的に伸びたとは言えませんが、英語や異文化の学習への意欲が大きく向上したことや、英語を話す抵抗感が消えたことが今回の研修で大きかったことだと思います。	全体の経済状況の違いです。私たちが普段生活する場所は、比較的きれいで設備が整っている場所です。近くにはショッピングモールがあり、必要なものがすぐに揃います。このあたりでは、日本と同じような空気感を感じることは多いですが、少し先に進むとすぐにスラム街のような住宅地が見えてきます。今回、ストリートチルドレンと交流する機会があり、その場を肌身で感じ、日本との違いを強く感じました。そこから、発展しているように見えても、貧困率が高く、その問題が大きく続いていることを痛感しました。自分たちができている生活がいかに当たり前ではなく恵まれているのかについて考える良い機会にもなりました。
今回の研修では英語でのコミュニケーション力はのこと、今まであまり意識していなかった文法やしっかりとした語彙の意味理解などを学ぶことができたと感じた。英語を英語で説明されるので、より一層深く理解できたとともに、マンツーマンの授業では自分のレベルに合わせて授業を進めてもらえるのが英語力向上につながったと思う。また、マンツーマンという形であるため自分が質問したいときに質問できるのは自分のミスや勘違いを減らす良いやり方であったとも感じる。そして立地がよいこともあり、クラブなどを使って手軽に観光地に行けたことも異文化理解につながったのではないかと思う。	自分が1番印象に残ったのは、ストリートチルドレンとの触れ合いです。日本にはホームレスはいるけれど、大体が老人の独り身といった感じで、家族単位でホームレス、路上で生活している人たちを見るのは自分の中で、カルチャーショックを受けた感触がありました。また、犬やネコも日本と違って野良が大量にいるのも気になりました。
英語コミュニケーション全般の向上、異文化理解の深化	フレンドリーな人が多い
今回の研修では、英語でコミュニケーションを取ることへの意識が大きく変化したことが最も大きな成果だと感じている。マンツーマン授業やグループ授業を通して、完璧な英語でなくても伝えようとする姿勢が重要であることを学んだ。	異なる文化や食生活、時間感覚などを経験する中で、自分の当たり前が世界では当たり前ではないという気づきを得ることができた。
リスニング力とコミュニケーション力の向上。初対面の人と話すことが怖くなくなったし、会話を続ける力や話題を広げる力もついたと感じる。	フィリピンと日本の貧富の差を学んだ。寮の部屋を初めて見た時は正直ここで3週間過ごすのは大変だと思ったが、ストリートチルドレンの集落を見たら、寮の設備は整っていると思った。自分の思っている当たり前のことは誰かにとっては当たり前でないことを知ることができた。
英語のスキル向上、コミュニケーション能力向上、異文化理解、異文化交流の楽しさ	日本とフィリピンの文化の違い
リスニング力とスピーキング力が上がったと思う。マンツーマンもグループ授業も、常に英語を聞いて、英語で聞かれた質問に英語で自分の頭で英語に変換して答えなければいけないため、常に英語力が試され、行く前よりも、全体的に英語力は上がったと思うが、特にスピーキングとリスニングが上がったと思う	文化の違いについて学ぶことができた。特に水道水が気軽に使えないところに驚いた。家では、当たり前のように歯磨きや口をゆすぐ時も、水道水を使っていたが、寮では使えず、最初はとても苦労した。日本では当たり前のことが、フィリピンでは当たり前では無いのだと知ることができた。
英語コミュニケーション力の向上は成果として感じられました。また認識が変わったとも取れるかもしれませんが。今までは単語力・文法にばっか気を取られていましたが、そもそも言語は勉強ではないという点を改めて認識し、今回の研修では瞬発力や流れで読み取る力みたいなものが成果として得られました。	自分が1番印象に残ったのは、ストリートチルドレンとの触れ合いです。日本にはホームレスはいるけれど、大体が老人の独り身といった感じで、家族単位でホームレス、路上で生活している人たちを見るのは自分の中で、カルチャーショックを受けた感触がありました。また、犬やネコも日本と違って野良が大量にいるのも気になりました。
英語のスピーキング力が向上した。	日本での生活が当たり前ではないことを再認識した。